

大阪市は 全国一高い 介護保険料を引下げてください

大阪市の介護保険料は全国一高くなってしまいました。基準月額9,249円・年額11万988円)で全国平均の1.5倍です。特に低所得者(非課税世帯・年金80万円以下)で比較すると近隣の政令指定都市と比べても極端に高くなっています。

高齢者の介護保険料(基準月額)

| | |
|------|--------|
| 大阪市 | 9,249円 |
| 全国平均 | 6,225円 |

全国平均の
1.5倍



大阪市では一人暮らし高齢者が45%と全国平均(29.6%)の1.5倍、このためホームヘルパーなど在宅介護サービスを利用する人が多く、介護費用が多くかかるため保険料が高くなつたと大阪市は説明しています。介護費用の23%を高齢者全員に保険料として負担させる介護保険は限界に来ています。

これでは使えない! 大阪市の補聴器購入費助成

大阪市は「介護保険を使う高齢者を減らす」として、介護予防を強調するあまり、今年4月から始めた「補聴器購入費助成」事業にも「介護予防活動参加」を条件にして使いにくくしました。



ここが
問題!

- ①大阪市の介護予防ポイント事業などに参加しないと助成金がもらえない
- ②申請手続きが区役所でできない
- ③助成額は最高2万5千円

私たちの要求

- 1)国庫負担増で介護保険料引下げ、介護を充実するよう国に求めてください。
- 2)当面、大阪市の一般財源を投入して介護保険料を引き下げてください。
- 3)大阪市補聴器購入費助成事業は次のとおり改善してください
 - ①介護予防活動参加を条件としないこと
 - ②助成額は15万円以上とすること
 - ③助成金は前払いも可能とすること
 - ④区役所で受付・決定を行うこと

介護保険料に納得できない人は「不服審査請求」ができます

介護保険料引き下げ署名にご協力をお願いします。

介護保険料引き下げ署名(大阪社保協サイトより)→

